学校番号	208

平成 31 年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	地理 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校地理歴史科「高校生の地理Ａ」　（帝国書院） 高等学校地理歴史科「標準高等地図―地図でよむ現代社会―」　（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的・空間的認識を多様な視点から磨く。
・資料・情報の収集、有用な情報の選択・整理、論理的思考を身につける。
・現代世界の諸課題を通して、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。
・地理情報と地図に関する実習を積極的に取り組む。

2　学習の到達目標

・現代社会の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸事象･諸課題について、興味・関心を持って意欲的に学習し、理解しようと努めたか。 国際社会に主体的に生きる国民としての自覚を持ち、授業に意欲的に取り組むことができたか。 作業学習・調べ学習に意欲的に取り組むことができたか。	現代世界の地理的諸事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理的見方考え方から考察することができたか。また、日本と比較し関連づけて考えることができたか。 世界の様々な問題を地球的、地理的視野から考察し、公正に判断しようとしたか。	地図の読図や作図、衛星画像や空中写真、景観写真の読みとりなど、地理的技能を身につけることができたか。 資料や地理情報の活用方法を身につけることができたか。 情報の収集・分析に情報通信ネットワークや地理情報システムを活用することができたか。	現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけ､相互の関連性や課題を理解することができたか。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	旅からとらえる現代世界	・情報通信・交通 ・地球儀と地図 ・緯度と季節 ・時差 ・国家と国家間の結びつき	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み、課題を完成させたか。地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。 b:日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察することができたか。 c:時差の仕組みを理解し、世界の2地点間の時差を求めることができたか。世界地図を図法の違いにより適切に使い分けられたか。 d: 地球を球面としてとらえ、位置・方位・距離・時差・季節について正しく理解したか。国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について理解したか。	定期考査 ワークシート レポート
	世界の自然環境と文化	・地形 ・気候	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 世界の地形、気候、経済、文化について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。また、理解しようとつとめたか。 b: 自分が生活している地域の地形や気候の特徴について考えることができたか。 c: 学習内容に関する諸事象を、主題図や写真、グラフ、統計資料から捉えることができたか。雨温図や写真から気候の特徴を読みとることができたか。 d: 地形、気候についての知識を身につけ、主要な要素の分布の特徴を世界的視野から捉えられたか。	定期考査 ワークシート

2学期	日本の自然環境と防災	・日本の地形 ・地震・火山災害と防災 ・日本の気候 ・水害と防災 ・身近な地域の防災	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○	a: 日本の自然環境と自然災害の学習に対し、意欲的に知識を学ぶとともに、環境と災害の関連性について考え、防災意識を高めることができたか。 b: 日本の自然環境と災害との関係について考察できたか。 防災に必要な事柄、自分が防災に備えて学んでおくべき事柄を考えることができたか。 c:ハザードマップの活用について理解し、国土交通省の情報を閲覧したり、自治体の情報を入手する能力を身につけたか。 d: 日本の自然環境、土地利用の特徴を知り、自然災害との関わりを理解できたか。また、地理で学んだことを利用して行動できることを理解したか。	定期考査 ワークシート
	世界の自然環境と文化	・文化	○	○	○	○	a: 世界の文化について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。また、理解しようとつとめたか。 b:生活と宗教の関わりについて考察することができたか。 c: 学習内容に関する諸事象を主題図や写真、グラフ、統計資料から捉えることができたか。 d:文化についての知識を身につけ、主要な要素の分布の特徴を世界的視野から捉えられたか。また、世界の多様性を理解し、異文化尊重の態度が重要であることを理解したか。	定期考査 ワークシート

2・3学期	世界の諸地域の生活・文化	・中国 ・韓国 ・南アジア ・中央アジア・西アジア・北アフリカ ・サハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アメリカ合衆国 ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○	○	○	○	a: 世界各地の生活・文化について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。また、理解しようと努めたか。 b:各国や各地域と日本との文化的・経済的関わりを、自分の暮らしとの関連からとらえることができたか。また、諸地域の生活・文化について、日本との比較を行い、共通点・異質点を見いだすことができたか。 c: 写真資料から各地域の自然環境、生活・文化の様子を読みとることができたか。主題図や統計資料から事象の分布や移動の特徴、変化をとらえられたか。地図帳を利用した地図作業を適切に行うことができたか。 d: 世界の諸地域について、自然環境、生活と文化、歴史、産業と社会等の地域理解に必要な基礎的知識を身につけることができたか。	定期考査 ワークシート
3学期	地球規模で広がる課題	・地球的課題の特性 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・資源・エネルギー問題 ・環境問題 ・地球的課題の解決に向けて	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 人口問題、食糧問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、環境問題について、地球社会の一員としての自覚を持ちながら意欲的に授業に臨むことができたか。 b: 地球的諸課題について地球的視野から捉えるとともに、各事例については地域性を踏まえて問題の所在や解決の方向性を考えることができたか。 c:グラフや表などの統計資料から地球的諸課題の現状をつかみ、問題の所在を見つけることができたか。 d: 地球的諸課題について、地球に生きる一員として必要な知識を身につけられたか。また、諸問題相互の関連性を理解できたか。	定期考査 ワークシート

	身近にあるさまざまな地図	・身近な地図とその特色 ・GIS を用いた地図表現 ・目的に応じた地図表現					a: 身の回りの地図に興味を持ち、積極的に知識と活用を学んだか。 b: 身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。また、紙の地形図と電子地形図の用途や応用について考えることができたか。 c: GIS ソフトウェアで地理空間情報を地図化することができたか。 d: 身の回りの地図に関する基本的な知識を身につけ、日常生活における地図利用の有効性を理解できたか。また、地理空間情報、GPS・GIS とその利用方法に関する知識を身につけたか。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。